

平成30年 2月市長定例記者会見

日 時：平成30年2月1日（木） 午後1時30分～2時

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞、北日本放送、チューリップテレビ、射水ケーブルネットワーク、ホットラインKOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、企画管理部次長、農林水産課長、地域振興・文化課長、人事課人事係長、射水消防本部防災課長、未来創造課長（司会）

質疑応答の概要

Q1. 水道管の凍結や破裂により、石川や新潟、氷見などで断水が続くなどしている。射水市内の凍結・破裂による被害はどのくらいか、また、どれくらい回復しているのか。雪による水道管以外の被害もあれば教えてほしい。

A1. いろいろな施設において、水道管の凍結や破裂による漏水などの報告が多数あった。それぞれ事業者が対応し、既に復旧されている。雪の被害についても多数報告を受けている。樹木の倒木などによりフェンスや銅像が壊れたといった報告もあった。

寒波については、2月に入ったが、十分注意してほしい。市としても気象情報などを注視しながら、除雪などにしっかり対応していきたいと思う。市民の皆様にも水道管の凍結や雪への対策をお願いしたい。（市長）

Q2. 泉佐野市との協定について、泉佐野市は47都道府県の自治体と協定の締結を目指しているということだが、富山県で射水市が選ばれた理由を教えてほしい。また、今後泉佐野市で射水市のどのような特産品を販売するのか。

A2. 射水市ではサクラムスの6次産業化に取り組んでいるが、泉佐野市も特産品の6次産業化を図り、取組を行っている。日ごろから情報や意見交換を行うなどのご縁があった。また、千代松市長とはいろいろな会議・会合などでもご一緒する機会があった。その中で今回の協定の締結に至った。取り扱う具体的な特産品については、今後お互いに詰めていくこ

とになる。アンテナショップで取り扱うとなると、生もの以外の特産品になるかと思う。しかし、生ものでも例えばカタログ的なものを置き、注文をいただくなどのやり方も考えられる。(市長)

Q 3 . アンテナショップに各都道府県からの特産品が並ぶ中で、射水市の特産品が埋没しないような工夫などを考えていれば教えてほしい。

A 3 . 非常に大事なことなので、店頭に並ぶものについても、しっかり考えなくてはならないと思う。関西国際空港にあるアンテナショップでは、協定を結んだ全国の自治体の観光ポスターを貼っているという話だった。射水のポスターも貼っていただく中で、しっかり存在感を発揮しながら、知名度の向上につなげていければと思っている。(市長)